

第2回研究発表会 発表要旨

英語英米文学会は1997年10月24日に本学において、第2回研究発表会を、国際文化学会および人間科学会と共催した。研究発表した6名のうち、本学大学院文学研究科英語英米文学専攻の1995年度修了生1名の発表要旨を以下に掲載する。

会話分析とオーラル・コミュニケーション

釣 井 千 恵

研究の目的は、1994年度より高等学校の課程において導入された新科目「オーラル・コミュニケーション」の教科書を、「コミュニケーション能力」「会話分析」の観点から分析し、教科書に掲載されているモデル会話文の不自然さの原因を考察することである。

平成10年度より使用される「オーラル・コミュニケーションA」の教科書全21点のうち19点を分析の対象とした。各教科書から「電話会話」のモデル会話文を抜き出し、特に「終結部」に注目して分析を試みた。

Schegloff, E.A. and H.Sacks (1973) "Opening Up Closings." は電話会話は「単純に終結するのではなく、(会話参加者によって) 終了にもち込まれるのだということ」を指摘し、会話参加者が電話での会話を終了にもち込んでいくプロセスを明らかにしている。Schegloff and Sacks は、電話会話の終結部は Pre-closing と Leave-taking と Terminal Exchange から成る、としている。

Pre-closing とは、終結部を開始する可能性のある句のことである。一方の会話参加者にもう言いたいことが無くなった時、"We-ell," "Okay," "So-

oo”などの言葉を下降調のイントネーションで発し自分にはもう取り上げる話題がないことを知らせる。そして、もう一方の会話参加者にも話題が無く、この参加者が相手の意図を受け入れると、会話を終結にもっていくことができるのである。例として他に、1) 今までの会話をまとめたり、会話中に立てられた予定の確認をする、2) 会話を閉じる言葉を使う、3) 格言・ことわざを使う、4) 相手の利益に関する言葉（a. かけ手特有の言葉, b. 受け手特有の言葉）を使う、5) 会話を終わらせることを正当化したり・外部事情を知らせる、6) 会話の最初・途中の話題を持ち出す、などが挙げられる。

Pre-closing の提示が受け入れられることによって終結部が開始され、その後には Leave-taking が続く。Leave-taking には、電話での会話が終了してもお互いの関係はこれからも続くということを確認したり、会話を終了することによりマイナスになったお互いの関係を修復したりする働きがある。例として、1) 将来、会ったり電話で話をする約束をする、2) 感謝・謝罪の言葉（a. かけ手特有の言葉, b. 受け手特有の言葉）を多用する、3) お互い、または第三者の健康を祈ったり、第三者への伝言を頼んだりする、4) 電話で会話したことへの喜びを表現する、などが挙げられる。このような過程を踏んで、最終的に別れの言葉のやりとりに至るのである。

Schegloff and Sacks は実際に行われた会話を資料として「会話分析」を行い、以上のような形式的特徴を明らかにしている。教科書にモデルとして掲載されている会話文には上のような形式的特徴を見いだすことができるのだろうか。上述した教科書19点より、1文、2文で構成されている決まり文句に焦点をあてたものを除き、モデルとして与えられている会話文40例を分析した。

40の会話文データのうち、終結部を含んでいる会話文22例を、さらに上の終結部の構成要素に分類した。結果はつぎの通りである。Pre-closing の働きをする例は7例見られたが、1)の今までの会話をまとめたり、会話中に立てられた予定の確認をする、と4)の相手の利益に関する言葉を使う発話に限られていた。Leave-taking の働きをする発話は9例あったが、いくつかあ

る構成要素のうち、1)と2)の例に限られていた。

分析した結果、明らかになったのは、1)電話の開始、話題に重点をおいていることが多いため、終結部を全くモデル会話文に入れていないものが多い、2)「友達を誘う」「待ち合わせ時間を決める」「伝言を頼む」「予約する」という話題が多いため、終結部での発話のパターンが決まっている、3)「勧誘・承諾」「提案」等の表現を教えることが目的であるために、電話会話の特徴についてはほとんど示されていない。オーラル・コミュニケーションの教科書において「電話会話」に場面設定されているとしても、「勧誘」などの表現を教えるための便宜的な処置にすぎないと考えられる。Schegloff and Sacks が実際に行われる会話に則して観察したような形式的特徴を見いだすことはできなかった。教科書にモデルとして設定されている会話は、その性質上、表現の提示、プラクティスに留まっていることが判明した。